

# わが国での速度規制のあり方について（メモ）

2013.8.30 修正  
太田勝敏

## 1 最高速度制限（乗用車）について

・前提：法定最高速度は、高速道路(100km)と一般道路(60km)2 区分で車種により異なる速度

注. 標識など不要

・その他. 特定の最高速度制限をする区間

- 設定方法（実勢速度, 85%マイル値）などを参照し, 幹線道路について 40-60km の基準速度を基にプラスマイナス 10km. 生活道路は原則 30km（2009 年 10 月）

提案「生活道路について原則 30km」をできるだけ早く, 全国の市街地全体に適用を。区域規制または新たに第 3 の法定速度に。

参考：日本の法定速度の経緯：人家密集地など, 地域特性による区分もあった

一般道路についての主要国の法定速度（de facto を含む）の状況 - 英国, フランス, ドイツ, 米国では一般に都市内（既成市街地）とそれ以外を区分（表 1）

## 2 適切な速度規制の決め方

・科学的根拠, 明確なロジック, わかり易さ, 遵守性に基づく設定：ビジョンゼロでの時速 30km, 50km, 70km の意味（図 1）

・計画・設計, 実施・取締りを含めて費用対効果分析に基づく設定

- 交通安全便益に加えて, CO2 排出, 移動時間・費用, 生活環境への影響などへの影響と設置導入費用, 維持管理費用（インフラ関係）, 取締り等の費用のバランス

## 3 市民（運転者・徒歩・自転車など, 生活者）に分かりやすく納得のゆく規制

・交通規制の現状をわかり易く示す地図などの整備

・カーナビの活用：デジタルマップでの表示（現在は車道幅員 5.5m 未満の細街路は経路探索の対象外）

表 1 主要国の法定最高速度 - 乗用車, 時速 -

国	市街地	往復未分離道路	高速道路	非市街地
フランス [雨天時]	50km (住宅地 30km)	90km [80km]	130km[110km] 急行道路 110km[100km]	80-130km
ドイツ	50km (住宅地 30km)	-	制限ナシ (推奨 130km)	100km
英国	30 マイル(48km) (住宅地 20 マイル)	60 マイル (97km)	往復分離型道路 70 マイル (113km)	- (村落部 30 マイル)
米国 (州による)	25-45 マイル (40-72km)	55 マイル (88km)	65-80 マイル (100-129km)	55-70 マイル (89-113km)
日本	60km	-	100km	60km

注 1 法定速度(national speed limit)ないし標識等での指定がない場合に適用されるデフォルト値である。

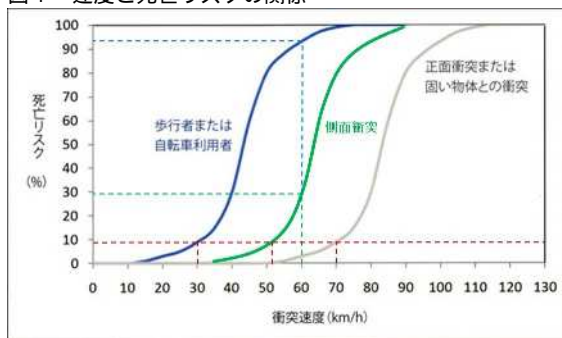
2 フランスの[ ]は雨天時のもの。

3 「-」は特別な区分をしていない場合で, 非市街地のものが適用される。

4 ( ) 内は, 特定の状況で広く適用または推奨されている速度。

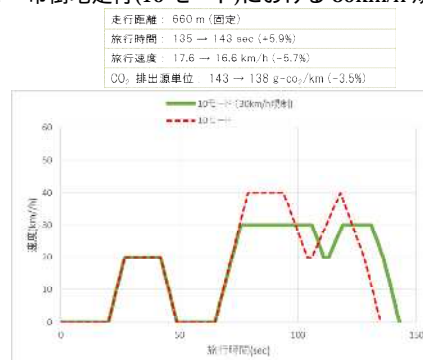
出所：Wikipedia ほか各種資料より作成

図 1 速度と死亡リスクの関係



出所：世界交通安全委員会、『MAKE ROADS SAFE - 道路を安全なものに-交通安全のための行動 10 年』 JAF

図 2 市街地走行(10モード)における 30km/h 規制の影響



出所：(公財)豊田都市交通研究所 (2013)